

# 連続セミナー 障がい児・医療的ケア児の親と就労 第3回

## 多様性を認め合う 風通しのよい社会をめざして

障がい児や医療的ケア児は、成長してもひとりで外出したり、留守番をしたりできるようになるとは限りません。子の年齢で区切ることができない、終わりが無い障がい児の育児と仕事の両立は大変なままです。こうした困難さを相談する相手はなかなか見つからず、ひとりで抱え込みがちです。

障がい児や医療的ケア児を育てる親が仕事をあきらめなくてもいい、多様性を認め合う風通しのよい社会になることをめざして、このセミナーでは、障がい児育児と仕事の両立について取り巻く現状と課題を共有し、そこから見える必要な仕組みや支援制度について考えます。

第3回は、政治や労使などの視点から、だれもが暮らしやすい風通しのよい社会のあり方について、お話を伺います。質疑応答の時間も設けます。連続セミナーは今回が最終回です。

# Childcare and Work

2024年 3月9日(土) 13:00～15:05

オンライン開催 (Zoomを使用します) **無料** どなたでも参加いただけます。

講師 (予定)



医療的ケア児の母になってみて、国会議員として  
～野田さんに聞いてみよう！ 育児と仕事の両立どうしてる？

野田聖子さん

衆議院議員  
障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会顧問



多様性を認め合う風通しのよい社会をめざして

富田哲郎さん

東日本旅客鉄道会長、経団連審議員会議長、労働法規委員長  
私立特別支援学校愛育学園理事長



誰もがいきいきと働き暮らす共生社会の実現に向けて

神保政史さん

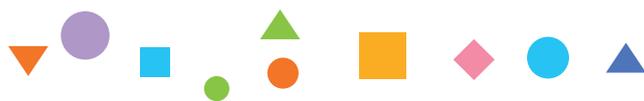
電機連合中央執行委員長

お問い合わせ先 セミナー事務局 [work-parenting@asahi-welfare.or.jp](mailto:work-parenting@asahi-welfare.or.jp)

主催:障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会、社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

 朝日新聞厚生文化事業団

## 第3回 多様性を認め合う風通しのよい社会をめざして



司会：市川亨（共同通信社特別報道室編集委員）



### Program

13:00～13:05

ごあいさつ

是永一好 朝日新聞厚生文化事業団業務執行理事

工藤さほ 障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会会長、こども家庭審議会成育医療等分科会委員

13:05～14:00

医療的ケア児の母になってみて、国会議員として～野田さんに聞いてみよう！

育児と仕事の両立どうしてる？ 野田聖子さん

14:00～14:05

親の会の活動、取り組みについて 工藤さほさん

14:05～14:35

多様性を認め合う風通しのよい社会をめざして 富田哲郎さん

14:35～15:00

誰もがいきいきと働き暮らす共生社会の実現に向けて 神保政史さん

15:00～15:05

まとめ

### Profile

#### 「障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会」

知的障がいや発達障がい、肢体不自由や難病、医療的ケア児など様々な障がいや疾患のある子たちを育てながら、働く親たちの会です。子の年齢は乳幼児から社会人まで幅広く、仕事との両立のための工夫や、当事者ならではの育児の悩みに関する情報交換、企業内に障がい児・医療的ケア児の育児支援制度を創設してもらうなど、仕事と育児の両立を可能にするための働きかけをし、実現もしてきました。朝日新聞社内の親たち8人で2016年11月に発足しました。現在、マスコミのほか金融、メーカー、公務員、団体職員など様々な職場で働く親たち約300人が参加しています。親の死後も子の生涯にわたり扶養しなければと、経済的な備えをしておきたいと思っていたり、死別や離別により一人で子育てをしている人もいたり、働き続けなければならない切実な諸事情を抱えた人も多く、働きたいけれど働けなくなった人も参加しています。2022年4月に日本新聞労連共催でオンラインによる業界初の実態調査報告会開催、2022年9月厚労省「障害児通所支援に関する検討会」、2022年12月超党派議員連「永田町子ども未来会議」、2023年厚労省「今後の仕事と育児・介護の両立支援に関する研究会」にてヒアリングをしていただきました。



工藤さほさん

ご入会フォーム



Facebook



#### 申し込み方法

● 朝日新聞厚生文化事業団HPの申し込みフォームからお申し込みください。

● 申し込み受付期間：2月29日（木）まで。

参加者には、開催前日までに登録のメールアドレス宛に参加用URLをお送りします。

申し込みフォーム

